

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 査 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	環境衛生美化推進事業				事業期間	昭和 61 年度 ～ ー 年度						所管課係	市民生活課環境衛生係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	1-2-1	他に関連する基本事業	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
目的 (何のために実施するのか)	空き地などの管理が適正に実施されることにより、地域の生活環境が快適に保全されることを目的とする。						手段 (どのような方法で実現するのか)		空き地などが管理不良状態にあるとき、土地所有者に対し期限を定めて雑草等を除去するよう勧告する。また、ごみ処理場や墓地周辺住民に対し環境物品を配付する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	市民						成果 (どのような効果が得られるのか)		市民の環境に対する美化意識の高揚が図られ、清潔で快適な生活環境を形成する。地域の環境を衛生的に保全する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	昭和61年4月より施行した砂川市空き地管理指導要綱に基づき指導を行っており、市民の通報のほか、町内会に対する調査依頼などで実態把握を行っている。													

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計画 合計	
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計
投入 された 事業費 の 推移	国 費	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
	道 費	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
	地方債	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
	その他	計画額			0				0					0	0
		予算計上額			0				0					0	0
		実績額			0				0					0	0
一般財源	計画額	249,000	249,000	249,000	747,000	245,000	245,000	245,000	735,000	245,000	245,000	245,000	245,000	980,000	2,462,000
	予算計上額	249,000	246,000	245,000	740,000	245,000	245,000	245,000	735,000	245,000	245,000	245,000	246,000	981,000	2,456,000
	実績額	245,158	243,062	218,121	706,341	177,312	209,711	231,701	618,724	224,441	116,723	231,391	219,481	792,036	2,117,101
事業費合計	計画額	249,000	249,000	249,000	747,000	245,000	245,000	245,000	735,000	245,000	245,000	245,000	245,000	980,000	2,462,000
	予算計上額	249,000	246,000	245,000	740,000	245,000	245,000	245,000	735,000	245,000	245,000	245,000	246,000	981,000	2,456,000
	実績額	245,158	243,062	218,121	706,341	177,312	209,711	231,701	618,724	224,441	116,723	231,391	219,481	792,036	2,117,101
事業費予算の内容		パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費	パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費	パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費		パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費	パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費	パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費		パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費	パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費	パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費	パンケ歌志内川 清掃委託料 その他事務費		
	前年度予算との比較 (増減理由)	旅費の見込みが前年度より減少したことによる減額	旅費の見込みが前年度より減少したことによる減額	旅費の見込みが前年度より減少したことによる減額		前年同額	前年同額	前年同額		前年同額	前年同額	前年同額	消費税増税に伴う増		
	実績との比較 (増減理由)	旅費の執行減により 3月補正 △2千円	旅費の執行減により 3月補正 △1千円	印刷製本費の執行減により		旅費、需用費の執行減により 3月補正 △55千円	旅費、需用費の執行減により 3月補正 △32千円	旅費の執行減により 3月補正 △9千円		旅費・需用費の執行減により	雨天中止により、パンケ歌志内川清掃委託料の執行が無かった	旅費・需用費の執行減により	旅費・需用費の執行減により		

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：管理不良な空き地の勧告件数	指標の求め方：管理不良な空き地の所有者に雑草の処理を勧告した件数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：勧告に対する雑草処理の割合	指標の求め方：勧告した件数に対し、雑草が処理された件数の割合

指標	活動指標 1 (単位/箇所)	計画値	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
		実績値	18	32	39	25	27	22	17	15	31	33	
成果指標 1 (単位/%)	計画値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績値	72.2	78.1	74.7	64.0	55.6	59.1	64.7	53.3	41.9	45.5		
事業 業務 事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている				ほぼ達成されている				ほぼ達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				変わらない				変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている				変わらない				変わらない
	総合評価				良好である				良好である				良好である
	総合評価の判断理由 または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 各町内の協力を得、不適切な管理となっている空き地の実態把握を行い、文章や訪問によって適正管理を促しているが、相続放棄されているものや所有者が近隣に居住していないもので草刈りが実施されないケースがある。	自己分析： 砂川市衛生組合や各町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に実態を調査した結果、管理不良の空き地の件数が前年を大きく上回ったが、所有者に対し勧告を行ったところ昨年を上回る割合で雑草が処理されたことから、一定程度の成果が見られたと判断する。	自己分析： 砂川市衛生組合や各町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に実態を調査した結果、管理不良の空き地の件数が前年を上回った。勧告により雑草が処理された件数は前年に比べて増加しているが、勧告件数も増加している為、処理割合は減少した。	判断理由： パンケ歌志内川清掃や空き地管理など、砂川市衛生組合や各町内会と連携した中で活動を実施し、市内の環境美化につながっていることから良好と判断した。	自己分析： 砂川市衛生組合や各町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に実態を調査した結果、管理不良の空き地の報告件数が前年を下回った。文書や訪問によって、草刈りの実施等、適正管理を促しているが、遠方に居住している所有者も多く、草刈が実施されていない空き地がある。	自己分析： 各町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付したが、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。また、パンケ歌志内川清掃委託については問題なく行われている。	自己分析： 各町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後は未実施の所有者に対しさらに複数回の依頼が必要である。また、パンケ歌志内川清掃委託については問題なく行われている。	判断理由： パンケ歌志内川清掃や空き地管理調査など、砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら活動を行い、市内の環境美化に一定の成果を上げていることから良好と判断した。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後は未実施の所有者に対しさらに早期に依頼することが必要である。また、パンケ歌志内川清掃委託については問題なく行われている。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後は未実施の所有者に対しさらに早期に依頼することが必要である。また、パンケ歌志内川清掃委託については問題なく行われている。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後は未実施の所有者に対しさらに早期に依頼することが必要である。また、パンケ歌志内川清掃委託については問題なく行われている。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後は未実施の所有者に対しさらに早期に依頼することが必要である。また、パンケ歌志内川清掃委託については問題なく行われている。
今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続				現状のまま継続
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら実施することにより、市内の環境美化はもとより、市民の環境美化に対する意識高揚につながっている状況から取り組みの継続は必要であると判断される。			H28：砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら当事業を実施しており、市内の環境美化に一定の成果をあげていることや、パンケ歌志内川清掃の際、刈った草の収集運搬を業者に委託することにより同事業がスムーズに行われていることから今後も当事業の継続は必要であると判断される。			H30： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら当事業を実施しており、市内の環境美化に一定の成果をあげていることや、パンケ歌志内川清掃の際、刈った草の収集運搬を業者に委託することにより同事業がスムーズに行われていることから今後も当事業の継続は必要であると判断される。						

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	衛生組合支援事業				事業期間	昭和 33 年度 ～ 年度								所管課係	市民生活課環境衛生係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	1 - 2 - 1	他に関連する基本事業	6 - 1 - 1	- -	- -	- -	- -	- -			
目的 (何のために実施するのか)	衛生組合の設立に伴い、行政と民間が相互に連携、活動する上で、63町内会の衛生支部長で構成する衛生組合を支援することにより、地域の環境美化問題を解決する。						手段 (どのような方法で実現するのか)		河川清掃、道路清掃などのボランティア活動や、行政と連携して空き地管理の実態を把握する活動を支援する。							
対象 (誰・何を対象としているのか)	砂川市衛生組合 (63町内会の衛生支部長で構成)						成果 (どのような効果が得られるのか)		住民の自主活動により地域の環境美化が向上する。							
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	町内会衛生組織の実践活動を推進している砂川市衛生組合に対して、運営費の一部を補助している。															

【DO】

実績

(単位: 円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計画 計		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入 され た 事業 費	国 費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額				0			0					0	0	
		実績額				0			0					0	0	
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	そ の 他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
一 般 財 源	計画額	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	216,000	864,000	2,160,000	
	予算計上額	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	216,000	864,000	2,160,000	
	実績額	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	216,000	864,000	2,160,000	
事業費合計	計画額	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	216,000	864,000	2,160,000	
	予算計上額	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	216,000	864,000	2,160,000	
	実績額	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	648,000	216,000	216,000	216,000	216,000	864,000	2,160,000	
の 推 移	事業費予算の内容	衛生組合補助金	衛生組合補助金	衛生組合補助金		衛生組合補助金	衛生組合補助金	衛生組合補助金		衛生組合補助金	衛生組合補助金	衛生組合補助金	衛生組合補助金			
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額			
	実績との比較 (増減理由)	同額	同額	同額		同額	同額	同額		同額	同額	同額	同額			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：美化活動事業費 (組合決算額)				指標の求め方：砂川市衛生組合の美化活動に要した事業費								
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：美化活動参加者数				指標の求め方：美化活動延人数								
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値	614	614	614	614	614	614	614	614	614	614		
		実績値	538	483	458	756	602	572	613	560	655	474		
成果指標 1 (単位/人)		計画値	230	235	240	245	250	252	254	256	258	260		
		実績値	43	231	231	220	225	250	257	138	256	224		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)													ほぼ達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)													変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)													変わらない
	総合評価													良好である
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 各町内会に対する春・秋の環境美化啓発活動のほか、4つの大きな事業を行っているが、そのうち、春季飛散ごみ回収と各種団体の協力のもと実施する夏のパンケ歌志内川清掃が雨天のため中止となったことから、事業費、活動人数ともに減少となった。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で、計画に基づいた事業が実施された。また、事業実施時には、衛生支部長及び他団体の参加により、環境美化活動における目的が達成されたと判断する。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で、計画に基づいた事業が実施された。また、事業実施時には、昨年同様衛生支部長及び各団体の多くの参加があった。	判断理由： 砂川市の環境美化活動の中心を担っている組織であり、数多くの衛生事業をボランティアで実施し、市内の環境美化に貢献していることから良好と判断した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で、計画に基づいた事業が実施された。また、事業実施時には、衛生支部長及び他団体の参加により、環境美化活動における目的が達成されたと判断する。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で、計画に基づいた事業が実施された。また、各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動となっている。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。また、各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動に貢献があることから良好と判断した。	判断理由： 砂川市衛生組合は、砂川市の環境美化活動の中心を担っている組織であり、数多くの事業をボランティアで実施し、市内の環境美化に多大な貢献があることから良好と判断した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。また、各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動に貢献しているが、春季飛散ごみ回収、パンケ歌志内川河川清掃が雨天中止となり参加者が昨年と比べ減少した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動となっているが、春季飛散により中止となった活動があったため比較できないが、一昨年に比較しても活動参加者は増加した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動に貢献しているが、春季飛散により中止となった活動があったため比較できないが、一昨年に比較しても活動参加者は増加した。	判断理由： 砂川市衛生組合は、砂川市の環境美化活動の中心を担っている組織であり、数多くの事業をボランティアで実施し、市内の環境美化に多大な貢献があることから良好と判断した。
	今後の方向性													現状のまま継続
	方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：砂川市の環境美化活動の中心を担っている組織であり、補助金交付の継続が必要と判断される。				H28：砂川市衛生組合は砂川市の環境美化活動の中心を担っている組織であり、実施している事業は市内の環境美化に多大な貢献があることから補助金交付の継続が必要である。				H30：砂川市衛生組合は砂川市の環境美化活動の中心を担っている組織であり、実施している事業は市内の環境美化に多大な貢献があることから補助金交付の継続が必要である。				

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	し尿収集処理事業				事業期間 第6期総合計画 の位置付け	— 年度 ~ — 年度								所管課係	市民生活課環境衛生係
	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外		1-2-2	他に關連する 基本事業	—	—	—	—	—	—		
目的 (何のために実施する のか)	未水洗家庭及び事業所のし尿を申込制により効果的に収集処理することにより、衛生的な環境の維持を図る。					手段 (どのような方法で 実現するのか)	申込みに基づき、し尿を収集し、歌志内衛生センターへ投入する。収集運搬は、委託業務により業者が行う。手数料は、現金で収納したものについては委託業者が徴収する。								
対象 (誰・何を対象として いるのか)	未水洗の家庭及び事業所の便所					成果 (どのような効果が 得られるのか)	し尿を適正に収集、運搬、処理し、衛生的な生活環境を保持する。								
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	各家庭のし尿を収集し、処理施設へ運搬する。平成20年度末に砂奈浦衛生センターを休止としたことから、平成21年度より歌志内市衛生センターにて処理を行っているが、現在、石狩川流域下水道組合加入の12市町において、下水道処理施設である奈井江浄化センターでし尿も合わせて処理できるよう施設整備を行う協議を進めており、平成27年度から供用開始の見込みである。														

【DO】

実績

(単位：円)

投入された事業費の推移	国費	道費	地方債	その他	第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計 合計	
					第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計
事業費の 内容	計画額				0				0					0				0
	予算計上額				0				0					0				0
	実績額				0				0					0				0
	計画額				0				0					0				0
	予算計上額				0				0					0				0
	実績額				0				0					0				0
	計画額	7,938,000	7,938,000	7,938,000	23,814,000	6,792,000	6,792,000	6,792,000	20,376,000	6,434,000	6,434,000	6,434,000	6,434,000	25,736,000				69,926,000
	予算計上額	7,924,000	7,786,000	7,210,000	22,920,000	6,792,000	6,538,000	6,434,000	19,764,000	6,434,000	6,236,000	5,753,000	5,127,000	23,550,000				66,234,000
	実績額	7,473,500	7,198,000	7,172,360	21,843,860	6,799,860	6,659,360	6,379,360	19,838,580	6,442,860	6,025,360	5,534,360	5,213,500	23,216,080				64,898,520
	計画額	14,187,000	14,187,000	14,187,000	42,561,000	14,995,000	14,995,000	14,995,000	44,985,000	14,989,000	14,989,000	14,989,000	14,989,000	59,956,000				147,502,000
	予算計上額	14,201,000	14,371,000	14,905,000	43,477,000	14,995,000	14,910,000	14,989,000	44,894,000	14,989,000	16,795,000	18,170,000	18,862,000	68,816,000				157,187,000
	実績額	14,461,213	14,975,520	14,235,426	43,672,159	14,743,080	14,884,667	15,028,978	44,656,725	15,002,104	16,930,320	18,371,671	18,722,978	69,027,073				157,355,957
事業費合計	計画額	22,125,000	22,125,000	22,125,000	66,375,000	21,787,000	21,787,000	21,787,000	65,361,000	21,423,000	21,423,000	21,423,000	21,423,000	85,692,000				217,428,000
	予算計上額	22,125,000	22,157,000	22,115,000	66,397,000	21,787,000	21,448,000	21,423,000	64,658,000	21,423,000	23,031,000	23,923,000	23,989,000	92,366,000				223,421,000
	実績額	21,934,713	22,173,520	21,407,786	65,516,019	21,542,940	21,544,027	21,408,338	64,495,305	21,444,964	22,955,680	23,906,031	23,936,478	92,243,153				222,254,477
前年度予算との比較 (増減理由)		収集運搬車両の燃料費高騰による増加	収集運搬車両の燃料費高騰による増加			収集運搬委託料の減額	し尿等投入施設の変更に伴う投入使用料の減	事務費の減額		前年同額	入札によるし尿処理収集運搬委託料の増	し尿処理収集運搬委託料の増	消費税増税に伴う増					
	実績との比較 (増減理由)	収集運搬委託料の見積合わせ実施による減額 3月補正 △163千円	ミックス事業に係る石狩川流域下水道組合負担金の増額による 3月補正 69千円	収集運搬委託料の減額 3月補正 △626千円		し尿等投入施設の変更に伴う投入使用料の減 3月補正 △159千円	事務費の増額 3月補正118千円	事務費と収納委託料の減額		印刷製本費の増額	印刷製本費の減額	手数料収納委託料の減	手数料収納委託料の減					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：し尿処理件数	指標の求め方：し尿を収集し衛生センターに搬入した件数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：し尿収集量	指標の求め方：し尿を収集し衛生センターに搬入した量

指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値	1,727	1,650	1,600		1,550	1,500	1,450		1,400	1,350	1,300	1,250		
		実績値	1,657	1,570	1,544		1,462	1,436	1,373		1,289	1,250	1,213	1,149		
成果指標 1 (単位/KL)	計画値	1,177	1,165	1,155		1,145	1,135	1,125		1,115	1,110	1,105	1,100			
	実績値	1,148	1,109	1,056		1,007	1,001	1,023		973	912	828	816			
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					ほぼ達成されている				ほぼ達成されている					ほぼ達成されている	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					変わらない				変わらない					変わらない	
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない				変わらない					変わらない	
	総合評価					良好である				良好である					良好である	
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 下水道の普及によりし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	自己分析： 下水道の普及により、前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	自己分析： 下水道の普及により、前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。また、H27年4月、奈井江浄化センターにし尿等の前処理施設が完成するが、稼働開始に向け石狩川流域下水道組合構成市町で協議を行っている。更に同施設の完成に伴い、し尿等の業務が砂川地区保健衛生組合から砂川市へ移行される予定のため検討を行う必要がある。	判断理由： 申し込みのあったし尿処理に対し、委託業者と調整のうえ滞りなく収集が行われ、歌志内市衛生センターにて処理されている状況であることから良好と判断した。	自己分析： 下水道の普及により、前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。また、H27年度より奈井江浄化センターに近隣市町との広域的な処理施設が完成し、し尿等を投入している。	自己分析： 下水道の普及により、前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	自己分析： 下水道の普及により、前年に比べし尿処理件数が減少しているが処理量は旧豊沼中学校のし尿の汲み取りを建物の解体に伴い行ったため増加した。	判断理由： し尿の収集・運搬・投入については現在の委託業者により問題なく業務が行われていることから良好と判断した。	自己分析： 下水道や浄化槽の普及により、前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	自己分析： 下水道や浄化槽の普及、人口減少により、前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	自己分析： 下水道や浄化槽の普及、人口減少により、前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	自己分析： 下水道や浄化槽の普及、人口減少により、前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	判断理由： し尿の収集・運搬・投入については現在の委託業者により問題なく業務が行われていることから良好と判断した。		
今後の方向性					現状のまま継続					現状のまま継続					現状のまま継続	
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：平成25年7月から平成30年6月までの契約を委託業者と締結していることから、現行の収集内容を基本に継続しながら、平成27年度からの投入施設変更に向けた協議を行っている。また、下水道の普及により年々し尿収集件数が減少しており、手数料の妥当性などの検討も必要であると判断される。					H28：平成25年7月から平成30年6月までの収集運搬契約を委託業者と締結していることから、現行の収集運搬業務を基本的に継続しながら、状況に応じて委託業者と協議を行いながら事業を行っていきたい。また、下水道の普及により年々し尿収集件数が減少しており、手数料の妥当性などの検討も必要である。					H30：平成30年7月から令和5年6月までの収集運搬契約を委託業者と締結していることから、現行の収集運搬業務を基本的に継続しながら、状況に応じて委託業者と協議を行いながら事業を行っていきたい。					

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	公害防止対策事業				事業期間 第6期総合計画 の位置付け	— 年度 ~ — 年度				所管課係	市民生活課生活交通係
	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外		1-2-4	他に関連する 基本事業	—	—		
目的 (何のために実施する のか)	公害防止のため、市内の河川の水質、自動車による騒音・交通量を調査分析し、快適な環境下での市民生活の向上を図る。					手段 (どのような方法で 実現するのか)	市内における河川水、自動車騒音について、調査・分析の委託（河川水～年2回、自動車騒音～年1回）。騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく規制地域の指定（変更）事務。法令の定めによる各種届出書の受理。公害に関する苦情の解決。				
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の河川及び道路（国道、道道）、市内事業者及び市民					成果 (どのような効果が 得られるのか)	河川の水質や自動車騒音が環境基準と比較してどのような状況にあるかを把握し、公害関係法令の遵守による環境の保全や、公害に関する苦情を解決することにより、快適な環境下での市民生活の向上が図られる。				
事業開始時の状況・これまでの経緯（行革内容含む）	環境保全に関する調査を実施し、情報の管理及び提供が必要である。河川水の水質、自動車騒音の調査分析を実施している。行政改革では、平成17年度より水質調査箇所数の削減、自動車騒音調査を2日から1日に削減、隔年で実施していた大気汚染調査を廃止、さらに、平成20年度から委託料を5%削減している。										

【DO】

実績

(単位：円)

投入された事業費の推移	国費 道費 地方債 その他 一般財源	第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計画 合計		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
事業費 の 推 移	計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		予 算 計 上 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 画 額			447,000	447,000	447,000	1,341,000	1,761,000	1,761,000	1,761,000	5,283,000	1,358,000	1,358,000	1,358,000	1,358,000	5,432,000
		予 算 計 上 額		447,000	1,896,000	1,773,000	4,116,000	1,761,000	1,599,000	1,481,000	4,841,000	1,358,000	1,086,000	995,000	995,000	4,434,000
			実 績 額	444,885	1,765,099	997,500	3,207,484	995,760	834,840	768,960	2,599,560	725,760	650,160	662,200	651,200	2,689,320
	計 画 額			447,000	447,000	447,000	1,341,000	1,761,000	1,761,000	1,761,000	5,283,000	1,358,000	1,358,000	1,358,000	1,358,000	5,432,000
		予 算 計 上 額		447,000	1,896,000	1,773,000	4,116,000	1,761,000	1,599,000	1,481,000	4,841,000	1,358,000	1,086,000	995,000	995,000	4,434,000
			実 績 額	444,885	1,765,099	997,500	3,207,484	995,760	834,840	768,960	2,599,560	725,760	650,160	662,200	651,200	2,689,320
	事業費予算の内容			パンケ歌志内川水質調査52,500円 13箇所水質調査127,155円 自動車騒音交通量調査267,330円	13箇所水質調査127,155円 自動車騒音常時監視事業1,701,000円	13箇所水質調査127,155円 自動車騒音常時監視事業1,572,900円		13箇所水質調査140,400円 自動車騒音常時監視事業1,620,000円	13箇所水質調査140,400円 自動車騒音常時監視事業1,458,000円	13箇所水質調査140,400円 自動車騒音常時監視事業1,339,200円		13箇所水質調査140,400円 自動車騒音常時監視事業1,216,080円	13箇所水質調査140,400円 自動車騒音常時監視事業945,000円	13箇所水質調査143,000円 自動車騒音常時監視事業852,000円	13箇所水質調査143,000円 自動車騒音常時監視事業852,000円	
		前年度予算との比較 (増減理由)		各調査の委託料の減	平成24年度から自動車騒音監視箇所の増	自動車騒音常時監視でH24年度に購入した地図データを使用することによる減。		主に消費税率の引き上げに伴う増	自動車騒音常時監視の実測区間の減	自動車騒音常時監視の区間の減		自動車騒音常時監視の実測区間の減	自動車騒音常時監視の実測区間の減	自動車騒音常時監視にかかる各種手続き単価の減	前年度同額	
			実績との比較 (増減理由)	パンケ歌志内川水質調査委託料の減	主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △79千円	主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △752千円		主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △764千円	主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △763千円	主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △670千円		主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △631千円	主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △435千円	主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △332千円	主に自動車騒音常時監視事業の入札減。 3月補正 △343千円	

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：公害調査箇所数	指標の求め方：調査箇所数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：公害調査における環境基準超過件数	指標の求め方：基準超過件数
活動指標 2	指標名：	指標の求め方：
成果指標 2	指標名：生活公害に関する苦情	指標の求め方：苦情件数

指標	活動指標 1 (単位/)	計画値	15	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
		実績値	15	17	17	19	17	15	17	17	19	17	17	17
	成果指標 1 (単位/件)	計画値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	1	3	2	3	0	1	0	2	1	1	1
	活動指標 2 (単位/)	計画値												
		実績値												
	成果指標 2 (単位/件)	計画値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2

事業	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている									達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				あまり上がっていない									あまり上がっていない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない									変わらない
	総合評価				問題がある									普通である

事業	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：河川の水質や自動車騒音がどのような状況にあるかを把握し、市民の健康の保持及び生活環境の保全を図る。	自己分析：H24年度より自動車騒音常時監視業務が北海道から移譲されたことに伴い、自動車騒音の評価方法が定点測定から面的評価に変わった。この影響から、自動車騒音の常時監視を行った4区間のうち1区間において基準値を超過する結果となった。	自己分析：自動車騒音常時監視について、前年度に続き環境基準値を超える結果となったが、公安委員会に対応を要請する要請限度を超えてはいない。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	判断理由：達成度、成果は指標の動向から上記のとおりとした。効率性については、自動車騒音常時監視の権限移譲により事業費は上がり、実測区間を抑えるなど効率的な実施に努めているため「変わらない」と評価した。総合評価は、「あまり上がっていない」と判断した。	自己分析：自動車騒音常時監視について、前年度に続き2区間において環境基準値を超える結果となったが、公安委員会に対応を要請する要請限度を超えてはいない。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析：自動車騒音常時監視について、前年度に続き3区間において環境基準値を超える結果となったが、公安委員会に対応を要請する要請限度を超えてはいない。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析：自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	判断理由：事業の成果は自動車騒音の状況から上記のとおり評価したが、自動車騒音は要請限度を超えておらず、また、他の指標は計画値を満たしていることから、「普通である」と判断した。	自己分析：自動車騒音常時監視について、1区間において環境基準値を超える結果となったが、公安委員会に対応を要請する要請限度を超えてはいない。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析：自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析：河川水質調査について、袋地沼ではCOD、ベンケ歌志内川(黎明橋)ではBODが基準を超過する結果となった。原因としては、天候不順により一時的に増水したことが影響したものと考えられる。直ちに緊急対策が必要ではなく、次年度以降も継続的に調査することとする。	自己分析：河川水質調査について、パンケ歌志内川(吉野橋)で水銀イオン濃度(pH)が基準を超過する結果となった。原因としては、夏場の雨量が少なかったことなどが影響したものと考えられる。直ちに緊急対策が必要ではなく、次年度以降も継続的に調査することとする。	判断理由：事業の成果は自動車騒音の状況から上記のとおり評価したが、自動車騒音は要請限度を超えておらず、また、他の指標は計画値を満たしていることから、「普通である」と判断した。
			今後の方向性				現状のまま継続					現状のまま継続			

方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：事業の実施方法には改善の余地がないと考えられるため、今後の方向性は「現状のまま継続」と判断した。本事業における問題点はH24年度の自動車騒音常時監視結果において環境基準値を超える区間が判明したことであり、今後、H23年度以前に常時監視を実施してきた北海道や道路管理者とも協議しながら、どのような対応が可能か検討していきたい。	H28：事業の実施方法には改善の余地がないと考えられるため、今後の方向性は「現状のまま継続」と判断した。自動車騒音常時監視において国道12号を中心に環境基準値を超えている区間があることについて、道路の改良工事が行われて騒音が軽減されていると考えられるが、今後もスピードダウンなどを呼び掛けて騒音の軽減を図ってきたい。	H30：事業の実施方法には改善の余地がないと考えられるため、今後の方向性は「現状のまま継続」と判断した。自動車騒音常時監視において国道12号を中心に環境基準値を超えている区間があることについて、道路の改良工事が行われて騒音が軽減されていると考えられるが、今後もスピードダウンなどを呼び掛けて騒音の軽減を図ってきたい。
--------------------------------	--	--	--